

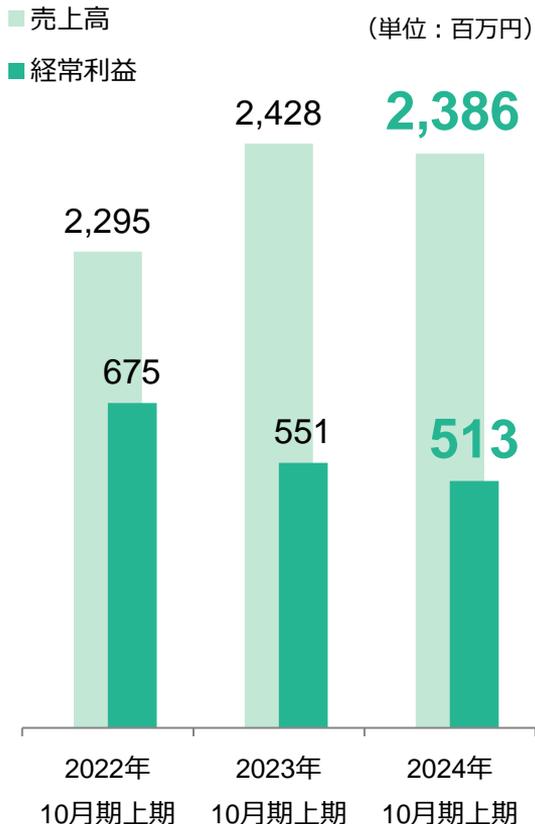
2024年10月期（第43期） 第2四半期決算補足資料

株式会社システム ディ（証券コード：3804）

2024年6月10日

- 01 2024年10月期第2四半期 決算の概況
- 02 顧客数・ストック売上の推移
- 03 事業部別売上構成
- 04 2024年10月期第2四半期までのトピックス
- 05 収益性・安定性に関する指標の推移
- 06 健康経営の取り組みについて

2024年10月期（第43期）第2四半期決算の概況



売上高 2,386百万円

対予算：△ 90 百万円 (96.4 %)

対前年：△ 41 百万円 (98.3 %)

経常利益 513百万円

対予算：△ 25 百万円 (95.4 %)

対前年：△ 38 百万円 (93.0 %)

仕入商品売上が大きく減少したため売上が計画に届かず、利益も若干ながら計画を下回る結果となった。

本業である自社開発パッケージソフトの販売は順調に進展しており、事業自体は、

順調に、計画通り 進捗。

(単位：百万円)

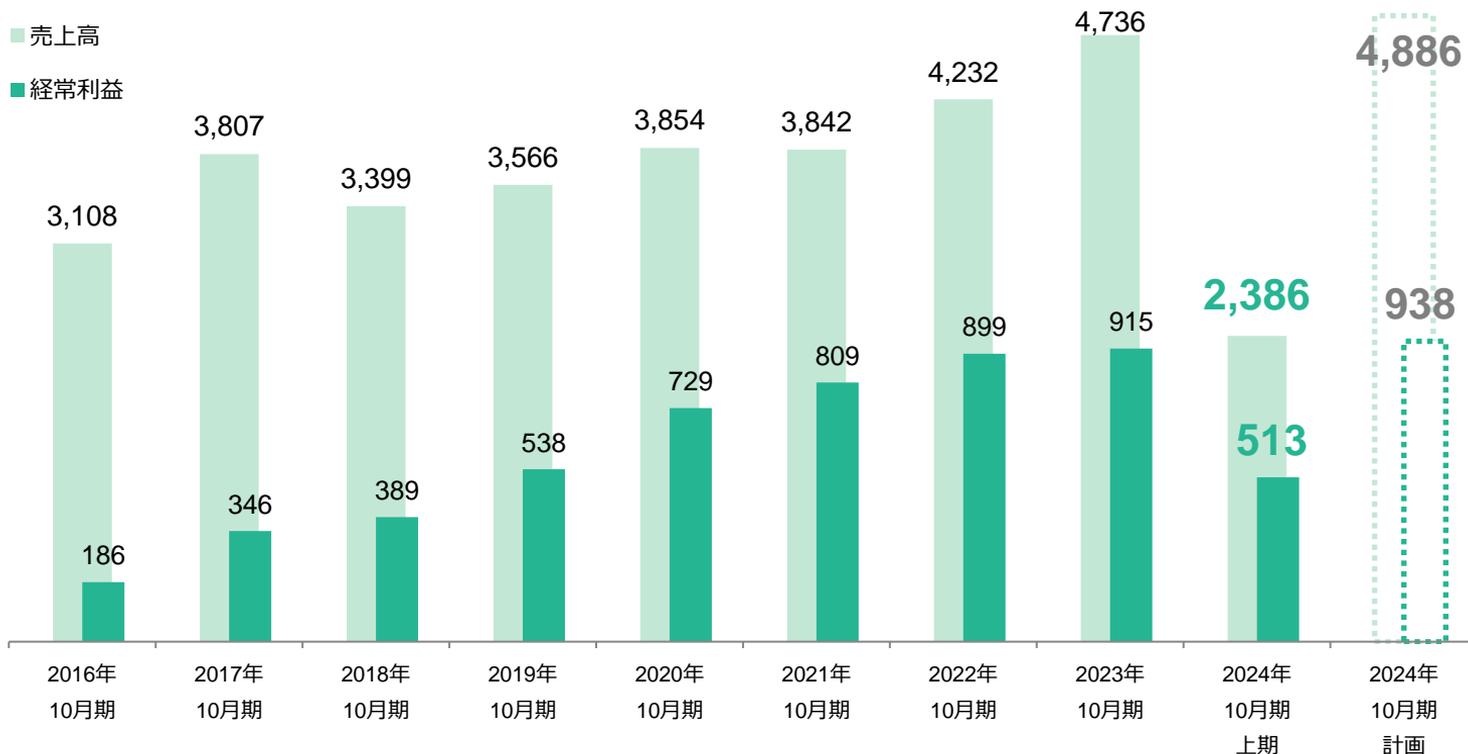
| | 2024年10月期 第2四半期実績 | 計画値 | 計画増減 | 計画比 (%) | 前年度実績 | 前年増減 | 前年同期比 (%) |
|-------|----------------------|-------|------|------------|-------|------|--------------|
| 売上高 | 2,386 | 2,476 | △ 90 | 96.4% | 2,428 | △ 42 | 98.3% |
| 売上総利益 | 1,074 | 1,122 | △ 48 | 95.8% | 1,075 | △ 1 | 99.9% |
| 営業利益 | 512 | 542 | △ 30 | 94.5% | 551 | △ 39 | 93.0% |
| 経常利益 | 513 | 541 | △ 28 | 94.9% | 551 | △ 38 | 93.2% |
| 当期純利益 | 342 | 362 | △ 20 | 94.5% | 376 | △ 34 | 91.0% |

売上高・経常利益の推移



2015年10月期以降、着実に増収増益で推移。2024年10月期 2 Qは、前年同時期をやや下回ったものの、通期計画では引き続き堅実な成長を目指す。

(単位：百万円)



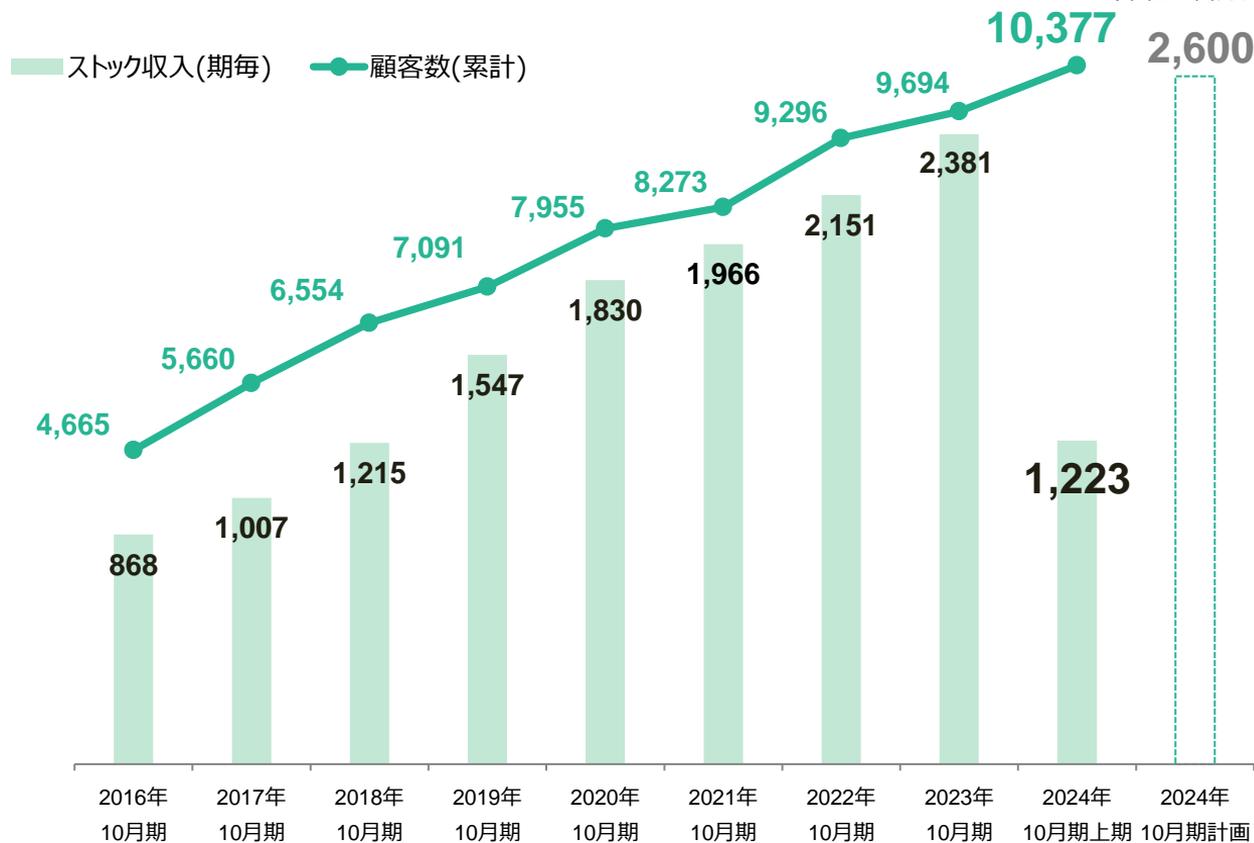
顧客数・ストック売上の推移

(単位：百万円)

累計ユーザー数
10,000突破

現役ユーザー数 約7,400

ストック収益を構成するサポート契約／クラウド契約の1ユーザー当りの単価は数万円から数千万円まで幅が大きいですが、前期の現役ユーザー様との契約金額の合計は20億円を超える売上高となった。2024年10月期においても、着実にストック収益を伸ばしている。



※累計ユーザー数は株式会社シンク1,232ユーザー含む。

※2022年10月期の「顧客数」は、一部重複カウントがあったため、過去発表の数字から修正させていただきました。

文教 × 健康 × 公共 × 民間

特定業種・業務に特化し、教育機関・スポーツ施設・公共団体・民間企業等に提供しております。

学園ソリューション 事業部



文教

入学から卒業まで学園運営をトータルに支援する学園総合情報システムを提供

..... 主力製品



学校事務トータルシステム
Campus Plan

1,034 ユーザー

ウェルネスソリューション 事業部



健康 × 民間

フィットネスクラブ運営のための事務処理や健康に関わるサービスをトータルに支援。アミューズメント施設向けシステムも提供。

..... 主力製品



Smart Hello Hello EX Hello Fun

1,545 ユーザー

公教育ソリューション 事業部



文教 × 公共

公立学校、生徒、保護者、教育委員会に向けたクラウド型校務支援サービスを提供

..... 主力製品



School Engine
スクールエンジン

- ・校務支援
- ・グループウェア
- ・徴収金管理
- ・Home Services

4,571 ユーザー

公会計ソリューション 事業部



公共

地方自治体の会計業務を支援。新たな基準による地方公会計制度にもいち早く対応

..... 主力製品



PPP Common
Public Accounting System Common Accounting System

公有財産管理
Public Asset Management Powered by PPP

1,336 ユーザー

ソフトエンジニアリング 事業部



民間 × 文教
健康 × 公共

コンプライアンス・コーポレートガバナンスを支援する製品で企業、学園、公益法人などの様々な業界へ事業展開

..... 主力製品



規程管理システム



契約書作成・管理システム

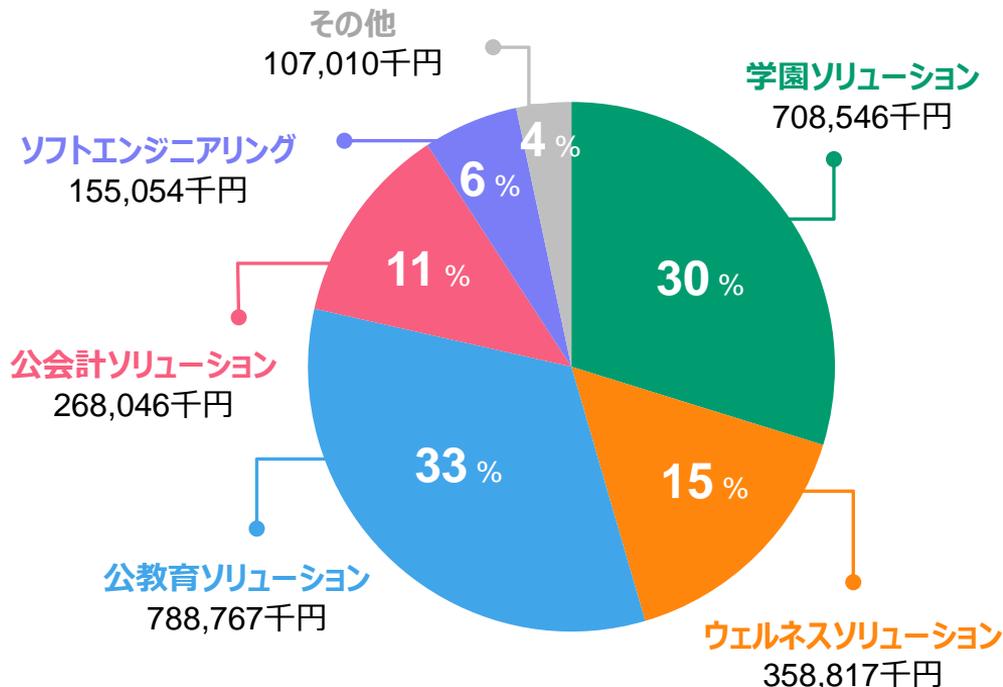
659 ユーザー

43期（第2四半期） 事業部別売上構成

学園Sと公教育Sが全社の売上高を牽引。
公教育Sの売上高がこれまでの屋台骨であった
学園Sの売上高を上回り、文教市場2部門で
63%を占める。

(単位：百万円)

| | 売上額 | ※調整後 営業利益 | 利益率 | 全社利益に 占める割合 |
|--------|-------|--------------|-------|----------------|
| 学園S | 708 | 109 | 15.5% | 21.4% |
| ウェルネスS | 358 | 6 | 1.7% | 1.2% |
| 公教育S | 788 | 239 | 30.3% | 46.7% |
| 公会計S | 268 | 64 | 23.9% | 12.5% |
| ソフTE | 155 | 68 | 43.9% | 13.3% |
| 連結 | 2,386 | 512 | 21.4% | |



売上総額 **2,386,240**千円

学園ソリューション 事業部

『Campus Plan』が大型案件の稼働実績により学務系システムの引合いが増加。

ウェルネス ソリューション事業部

『Smart Hello』の引合いが好調で今上半期で105の施設で新たに稼働開始。

公教育 ソリューション事業部

岩手県域、山口県域での公立学校での稼働立ち上げを無事に完了。
『オンライン出願システム』が大阪府教育庁に採用され、府立中学校選抜で稼働。

公会計 ソリューション事業部

『Common財務会計システム』の導入・稼働に加え、新たにリリースした
『公有財産管理システム』のファーストユーザー導入が決定。

ソフトウェアエンジニアリング 事業部

企業・文教・金融、独立行政法人等へ『規程管理・マニュアル管理システム』を
オールラウンドに展開。

大阪府立学校 入学者選抜の手続きをオンライン化 統合型校務支援クラウドサービス『School Engine出願システム』を導入

多くの都道府県教育委員会様のご要望に基づき、この度『School Engine出願システム』の提供を開始、昨年度から大阪府教育庁で採用されています。

デジタル庁が強かに推進する「デジタル社会の実現」として、いまや全国の高等学校の統合型校務支援システム導入率は97%まで上昇しました。この『School Engine出願システム』では、入試の出願～受験料の支払い～合否発表・点数開示～入学料の支払いの一連の手続きをデジタル化できることから、志願者・保護者の利便性を向上させ、教員の働き方改革推進に大きく貢献しております。

昨年度、大阪府教育庁に採用され、府立中学校選抜等において志願者約1,000人にご利用いただいた実績があり、今年度は大阪府公立高等学校選抜など、府が実施するすべての入学者選抜においてオンライン出願を全面導入します（紙ベースでの出願は無し）。他県でも導入を検討されており、全国での利用拡大に向けてシステムのご案内を進めてまいります。



売上高営業利益率

21.5%

自己資本比率

64.0%

EPS
1株当たり純利益

53.5 円

BPS
1株当たり純資産

670.5 円

※上半期のみ

効率の高い ビジネス展開に注力

KPIとして特に重視している売上高営業利益率は、20%を超えている。
下半期も引き続き、効率の高いビジネスを展開するよう注力。

当社にとって最も重要な経営資本は、人財と組織力です。

企業は人によって構成されており、その従業員一人ひとりには会社にとって大切な「財産」です。そして、この「人財」は投資を行うことによって発展させていかなければなりません。

当社は、人的資本に投資し、人的資本を最大化していくことに注力することが、企業の収益拡大・企業価値向上に直接的につながるという理念に基づき、人財の健康づくりと能力の育成・向上に積極的に取り組んでまいります。

また、個々の人財の能力を最大限に引き出すための土壌として、組織力強化にも注力してまいります。リーダーシップやコミュニケーション能力等を始めとするヒューマンスキル育成に投資することで、管理職としても通用する人財を育て、その結果として強靱な組織と人的資本を築き上げていきます。

我々システムディは、会社、社員、そのご家族と一体となって健康づくりに取り組み、人財とともに成長することができる企業であり続けることを宣言します。

強化ポイント

ワクワクしながら働ける環境づくり

就労環境の充実、職場における生活レベルの向上、エンゲージメント向上

心身ともに健全な状態を維持することで高いパフォーマンスを発揮する

時間外勤務減少、定期健診 & 二次健診受診促進喫煙率低下に向けた取り組み、受動喫煙対策、社員のヘルスリテラシーの向上

会社に来ればそこが一つの憩いの場であるかのように、 全員で各メンバーをケアし合う

職場の活性化、集まる機会・触れ合う機会を促進する取り組み

フィジカルの健康維持のための運動機会の促進

スポーツイベント開催・参加推奨

不安なく仕事ができるよう、家族を含めた健康増進を目指す

育児休業、介護休業の取得促進

人財育成のための学びの機会づくり

社内外のセミナー開催や自己研鑽用題材の提供を強化

本資料に掲載されている情報には、業績予想・事業計画等の将来の見通しに関するものが含まれています。これらの情報については、現時点で当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、リスクや不確実性を含むものです。

当社としてその実現や将来の業績を保証するものではなく、実際の業績はこれら将来の見通しと異なる可能性があることにご留意ください。

投資に関する決定はご自身の判断において行っていただくようお願いいたします。